

国内におけるネットワーク展開

東日本大震災において、学校は、緊急避難所また生活避難所として大きな役割を果たしました。学校の教職員は、発災直後には子どもたちの生命を守るべく尽力し、その後の4年間、子どもたちをケアし成長を支え続けています。宮城教育大学は、多くの教育系大学の協力を得て、こうした学校の教職員と子どもたちを支援する教育復興活動に取り組んでいます。

この取組の中で、様々な知見や教訓が得られました。例えば、学校支援ボランティアとして学生を派遣するための知見や、学校災害の調査研究からは、避難所運営スキルや防災訓練方法などの知見が蓄積されています。

2015年3月に仙台にて開催される国連防災世界会議を機会に、学校支援ボランティアを中心とした教育系大学間のネットワークを、さらに確かなものへと再構築し、このネットワークを介し防災・災害復興に焦点化した情報共有を図りたいと考えます。

そして、このネットワークを、ESD/RCEを通じた防災教育ともリンクさせることで、実効性のさらなる高まりを目指していきます。



海外へのネットワーク展開



東日本大震災復興対策本部（2011）が提示した復興の基本方針では、「災害の経験や復興の過程で得た知見や教訓を国際公共財として海外と共有」していくと述べられています。また、「我が国の人道支援方針」（外務省 2011）では、「自らの災害経験から得た防災に関する豊富な知見及び教訓を、国内の防災体制に活かすとともに、我が国に温かい支援の手をさしのべてくれた国際社会とも共有」して国際的防災に貢献することで恩返しをしていくという姿勢が示されています。

宮城教育大学は、小規模な国立大学ですが、これまでESDの推進を通じて、海外とのネットワークを形成してきました。その一つが、国連大学が認定するESDの推進拠点RCE(Regional Centre of Expertise)で、2015年2月現在、世界に135の拠点(地図上●)があります。東北地方に唯一の、RCE仙台広域圏は2005年のRCE制度発足時に認定された7拠点のうちの一つとして、宮城教育大学にその事務局が置かれています。その他、アジア太平洋を中心として、震災後に設置された教育復興支援センターの活動や、教員の共同研究先を通じて、海外の災害多発地域等(地図上●)とのパートナーシップを展開しています。



UN World Conference on
Disaster Risk Reduction
2015 Sendai Japan

第3回 国連防災世界会議

The 3rd World Conference on Disaster Risk Reduction

震災の経験と教訓を仙台・東北から世界へ

March 14 ~ March 18 2015



国立大学法人
宮城教育大学

文部科学省、日本ユネスコ国内委員会及び宮城教育大学は第3回国連防災世界会議を支援しています。

第3回国連防災世界会議 東日本大震災総合フォーラム 持続可能な開発のための教育を 通じた防災・減災の展開 ～より良い子どもたちの未来に向けて～

Fostering DRR through Education for Sustainable Development: Towards a Better Future for Children

- 15:00～15:05 **開会挨拶**
山脇 良雄 文部科学省国際統括官
- 15:05～15:15 **趣旨説明**
見上 一幸 宮城教育大学長
- 15:15～16:00 **東日本大震災被災地における実践事例発表**
◎大学による防災・復興教育プロジェクト
東北大学
◆東北大学減災「結」プロジェクト
災害科学国際研究所 保田 真理 助手
◆市民協働による仙台107万人の防災人づくり
災害科学国際研究所 佐藤 健 教授
宮城教育大学
◆震災を伝える、宮教大生の活動とその思い
初等教育教員養成課程
言語・社会系 英語コミュニケーションコース 3年 渡辺 涼子
初等教育教員養成課程 芸術・体育系 音楽コース 3年 八木沼 賢悟
◎宮城県多賀城高等学校 災害科学科開設に向けた歩み
◆ユネスコスクール加盟を目指して
宮城県多賀城高等学校 小泉 博 校長 生徒2名

- ◎気仙沼市階上地区コミュニティ防災の10年
◆ユネスコスクール活動を通じたESDと防災・復興
日本ユネスコ国内委員会委員
宮城教育大学国際理解教育研究センター協力研究員 及川 幸彦
気仙沼市立階上中学校 今野 勝美 校長 生徒2名
気仙沼市立階上中学校PTA 菊田 篤 元会長
- 16:00～16:10 **休憩**
- 16:10～18:00 **パネルディスカッション**
コーディネーター:
ショウ ラジブ 京都大学大学院 教授
パネリスト:
アレクサンダー・ライヒト ユネスコ本部(パリ)ESD課長
アモーレ・デ・トレス フィリピン・キャピトル大学 副学長
今村 文彦 東北大学災害科学国際研究所 所長
菅原 昭彦 気仙沼市商工会議所 会頭
武田 真一 河北新報社論説委員会 副委員長
コメンテーター:
ハンス・ヴァン・ヒンケル 元 国連事務次長・国連大学長
角地 スヴェンドロニ 日本外国特派員協会理事

場所 東北大学 川内萩ホール

日時 2015年3月16日(月) 15:00-18:00

内容 東日本大震災被災地での事例発表や国内外の専門家によるパネルディスカッションを通じて、持続可能な開発のための教育(ESD)が防災・減災に果たす役割について考えます。

<http://fukkou.miyakyo-u.ac.jp/wcdrr2015/>

主催:文部科学省、日本ユネスコ国内委員会、宮城教育大学
共催:東北大学災害科学国際研究所、国連防災世界会議防災教育日本連絡会
後援:岩手県教育委員会、宮城県教育委員会、福島県教育委員会、仙台市教育委員会、気仙沼市、河北新報社

宮城教育大学による第3回国連防災世界会議関連行事への関わり

1月28日(水) 13:00～15:30

◆宮城教育大学 国連防災世界会議プレイベント
東北発!防災教育の新たな展開を考えるワークショップ～ポスト DESD とポスト HFA をみずえて～

- 於 宮城教育大学 萩朋会館大集会室
- 主催 宮城教育大学 国連防災世界会議実行委員会



講演:ESDと震災復興を通じた教育系大学の連携を目指して



参加者ワークショップ:国連防災世界会議へ向けた教育現場からの期待

3月14日(土)～3月18日(水)

◆パブリック・フォーラム ブース展示

- 於 せんだいメディアテーク5階または6階
仙台市民会館地下1階展示室
- 展示内容 宮城教育大学が実施した
教育復興支援活動等を紹介

3月15日(日) 13:00～16:00

◆パブリック・フォーラム
東日本大震災と持続可能な防災教育シンポジウム

- 於 仙台市シルバーセンター
- 主催 仙台広域圏ESD・RCE運営委員会
(事務局:宮城教育大学)

3月15日(日) 13:45～14:45

◆コミュニケーション・スペース
展示やプレゼンテーション

- 於 せんだいメディアテーク6階
- 主催 宮城教育大学

3月16日(月) 午前

◆国連防災世界会議スタディツアー

Disaster Risk Reduction Education
for Children with Special Needs

- 於 宮城教育大学 附属特別支援学校
- 主催 第3回国連防災世界会議 仙台開催実行委員会

3月16日(月) 午前

◆国内RCE実務者会議

- 於 宮城教育大学
- 主催 仙台広域圏ESD・RCE運営委員会
(事務局:宮城教育大学)

3月16日(月) 15:00～18:00

◆東日本大震災・総合フォーラム
持続可能な開発のための教育を通じた
防災・減災の展開
～より良い子どもたちの未来に向けて～

Fostering DRR through Education
for Sustainable Development:
Towards a Better Future for Children

- 於 東北大学 川内萩ホール
- 主催 文部科学省・日本ユネスコ国内委員会
宮城教育大学

3月17日(火) 10:00～11:30

◆パブリック・フォーラム
シンポジウム・セミナー パネル展示

- 於 仙台市情報・産業プラザ セミナールーム(2)
(AER6階)
- 主催 復興大学(主管・東北工業大学)

3月18日(水) 午前

◆エクスカージョン
宮城教育大学ボランティア学生主催
被災地バスツアー

- 於 バスにて仙台市荒浜・名取市関上方面へ
- 主催 宮城教育大学 学生ボランティア